

会報 みなみやまだ

「地域づくりとはなにか」

南山田地域づくり協議会

協議会会長 水口耐子



南砺市は少子高齢化を鑑み、地域をより良い、より住みやすいものにすべく住民

が住民の手で住民の自治体として小規模ながら各地域づくり協議会で審議し事業を展開するとう目的で設定し、交流センターもより内容を充実するため、人件費を設け、部会制に設定した組織への予算も各地区毎に組み込まれました。しかし今、想定外ともいえる世界中を巻き込んだ新型コロナウイルスの襲来により、色んな活動行動が大きく制限され、戸惑う日々が続いており、ウイルス感染の恐怖に改めて動揺しております。

さてその中でも我々は先ず率先して心にとめておかなければならない事は高齢者への心配り、自然災害、人災への備えであることは言つまでもありません。

今期の豪雪の予報にはとても心配していましたが〇〇豪雪とかと比較するとそれほどでもなく、胸をなでおろしています。しかし高齢化時代の中、屋根雪下ろし、雪かき、買い物などの心配が高齢者世帯、高齢者一人暮らしの方からあり、具体的な対策が必要かと思いましたが、又地震や土砂崩れ、疫病時代の中、この様な災害が二重に発生した場合の避難所対策、地球温暖化

による集中豪雨での土砂災害や浸水害も問題視されており、桜ヶ池決壊、周辺の土砂崩れ等々、常に環境の変化も万が一の対策として考えておくべき事と思います。

又、南砺市は少子高齢化に伴い、空き家対策、学校の再編や、義務教育一貫学校等も全国に先んじて前入進めています。将来を担う子供達の環境は教育委員会やPTAそして住民を交えた慎重な審議で進めるべき、将来子供達が地域に住みたい、仕事をしたいというよな地域にしなければなりません。今、長引くコロナ過の中、出会い、人間同士のコミュニケーションが如何に大事かと言う事を改めて、思い知らされています。行くところがない、集まる事がないといった日々を過ごす、人は無意識にストレスが溜まり、自殺者や弱者への虐待が増えます。感染も経済停滞も困ります。人との出合いが少なくなる事もとても悪い影響に繋がる事を感じております。



昨年、南砺市は役所を一つに統合し、より行政を効率的に営むようにしました。そして旧各市役所を市民センターとし、前より規模を縮小して必要最小限の対応だけ機能しており、近い将来は解体撤去か代替え建築物を新築するが、まだ答えは聞いておりませんが、希望としては、地域全体のコミュニケーションを育む施設を望んでいます。最後にになりましたが、南山田地区の皆様のご健康とご清祥をお祈り申し上げます。

「少子化社会対策大綱」

南砺市議会議員

川口正城



【2020年5月29日閣議決定】

今年、少子化対策特別委員会に所属して、その副委員長に就任しました。

少子高齢化、人口減少が、問題になっている中で、少子化に絞って対策を提言しようとする委員会でありました。

南砺市でも、出生数が300人を割り込んでしまつて更に減り続けています。様々な部署で数多くの事業を行つてきていますが出生数が増加に転じるさざしは見えません。

どこに問題があるのだろうか？
どうすれば良いのだろうか？
どうすれば良いのだろうか？



ここは、やはり国難ともいえる最重要課題といわれているので、国の対策はどうなっているのでしょうか。それらの対策と予算計上を受けて、市が事業を行つていいるはずだから、その関連性を把握して、そこから具体的な提言をみつけようと考へていたら、表題の大綱に行き着きました。内閣府の子ども・子育て本部の大綱で、

- Ⅰ、はじめに
 - ・深刻さを増す少子化
 - ・少子化の主な原因は、未婚化、晩婚化と有配偶出生率の低下
 - ・長期的な展望に立つて、総合的な少子化対策を大胆に進める
 - ・諸外国の取組に学び、長期的な少子化対策を実践する
 - Ⅱ、少子化対策における基本的な目標
 - Ⅲ、基本的な考え方
 - ・結婚・子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境をつくる
 - ・多様化する子育ての家庭の様々なニーズにこえる
 - ・地域の実情に心じたきめ細かな取組を進める
 - ・結婚・妊娠・出産・子供・子育てに温かい社会をつくる
 - ・科学技術の成果など新たなリソースを積極的に活用する
- 以上、詳しくは大綱を確認して頂くこととして、私は、必要なのは、市の希望出生数を確認して、実際の子ども数との乖離をどう埋めるか、数字を確認してPDCAを回すことが大事と思つています。希望出生数は既婚者と未婚者とを分けて確認し、別々の対策が必要と考へています。研究を重ねて的確な提案をしたいと思つています。



「自治会会長退任あいさつ」

南山田自治会会長 松嶋裕治



昨年3月から

細木地区と入れ替わり、南山田自治会会長に就任しました。



昨年2月に横浜クルーズ船でのコロナ集団感染が発生し、たちまち全世界規模のパンデミックに至りました。1年経過した現在も、終息どころかウィルス変異の恐怖が迫っております。



南山田自治会は、18地区の自治会長の会です。各自治会会長方は、各地区で恒例行事の計画実行や、安心安全な生活のためにご尽力され、そして各会長相互の情報交換と親睦を通して地区の向上に努めておられます。

南砺市議会議員選挙がさる11月8日

公示で行われ、南山田地区推薦候補の川口正城氏が無投票当選となりました。コロナ対策の下、皆様方には大変お世話になりました。

今後、南山田地域の声が市政に届くと期待しております。

この1年間はコロナ禍で生活が制限されました。私たちの地区では地区民参加のイベントがすべて中止となりました。また、高齢化のため、会合開催の工夫も必要となり、例年通りとはいかず、私と同じように各自治会が工夫に悩まされたのではないのでしょうか。



あつという間の1年、そして異例の1年でしたが、たくさんの方々と出会い、経験し、振り返ると感謝があります。

南山田地区の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、今後も地域の活性化にご協力くださいます様よろしくお願いたします。

「新型コロナウィルス感染防止対策から学ぶことは！」

南山田老人会 会長 勇崎 寛



日頃、各単位クラブ会員の皆様には当老人会活動にご支援ご理解を頂きまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染は昨年1月16日から始まり、2月に国内初の死者、3月にはタレントの志村けんさんが亡くなられ、一気にこの新型コロナの恐ろしさを世間は知る事となりました。

4月には緊急事態宣言が発令され、三密(密閉・密集・密接)、マスク、手指の消毒を余儀なくされた生活が習慣化されてきました。

過去のスペイン風邪1918年から1920年(大正7から9年)から百年以上たつて発生した新型コロナは医学の進歩と医師や看護師などの懸命な働きにもかかわらず、収束を見ることなく現在に至っています。

この新型コロナ禍での当老人会の三つの心構え「健康・友愛・奉仕」を掲げた行事は、ことごとく中止または延期となりました。

実施された事業は

- ①ふるさと美化運動 (別院&美山荘の清掃・花壇整備等)
- ②パークゴルフ大会
- ③健康バス教室
- ④なんと彩葉祭り (遊休品・農産物等即売会)
- ⑤女性部会では 高齢者支援活動 (5月から11月 向け高齢者宅への訪問支援)
- ⑥第13回カローリング大会



これらは参加いただいた会員・役員の皆様のお蔭であります。

私たちに今 出来ることは、
* 出来ることから始めましょう!
* 今の状況を貴重な体験として「充電蓄積」し、健康寿命を延ばす!!
良い機会と捉えて行きたい。

それは、地域のためでもあり、自身のためでもあります。



『やりたいことはたくさんある』

学習・スポーツ部会

部長 水上和夫



「集い、学び、体を動かして楽しみましょう」

これは昨年の便

りで呼びかけたことです。けれども残念ながらこの一年はコロナのために次から次に活動を中止せざるを得ませんでした。

昨年五月、休校中家でごんばっていた小・中学生に図書券をプレゼントしま



地区民運動会の小・中学生競技（パン食い競争）、文化祭の充実、わんぱく塾のイベントなど、やりたいことはたくさんあります。ソーシャルディスタンスが住民の関係希薄化につながってはいけません。学習・スポーツ部会では南山田地区全ての世代の皆さんが、参加したい参加できる楽しい活動やイベントを創っていきます。



した。その後子ども達は元気に学校に通っています。コロナとの戦いは続きませんが、新年度はウィズ・コロナの活動を進めていきたいと思っています。

『高齢者と共に』

健康・福祉部会

部長 山田 厚



「みなくる会」

に時間のある時、お邪魔しますがその中の会員に、今年100歳になられる、スーパーおばあちゃんが居られます。若い者には負けられませんとばかりに、スクワットしたり、椅子を支点に片足を持ち上げたり、床に転がって両足を高く持ち上げるなど、これ以上ないくらい元気を、見せつけられます。

元気の素は、週1回参加する「みなくる会」ですとお伺いし、来ることが楽しく、張り合いがあることが、元気の源だとつくづく感じました。皆さんに喜んで頂き集える



「みなくる会」を、今後も益々存続させるよう、より一層頑張りたいと思います。



まちづくり・環境・産業部会
部会長 神田 清



「つごもり大市」がコロナ感染拡大と言いつ予測の出来な

い事態が全国的に広がり中止となりました。あれから1年経ちましたが今も尚、終息の気配がなく、早くワクチンの治療薬が出回ってその効果に期待したいものです。

さて昨年、南山田婦人会から引き継いで始めることになりました資源ゴミの回収は、春と秋の2回実施いたしましたがおかげさまで約30万円の収益が有りました。これは林商店さんの手数料と市の奨励金を差し引いた額です。この収益は、南山田の課題解決など地域の為に使用させて頂きたいと思えます。また、現在市ではこの資源回収の取組みを行うことにより下記の効果を上げております。

- 1 燃えるゴミの減量化(新聞、雑誌類、布類など分別して再利用)
- 2 運搬料の削減(南砺リサイクルセンターから砺波クリーンセンターへの運搬料経費削減)
- 3 奨励金交付による活用効果

なお、市の回収奨励金の対象品目は下表のとおりです。

今後の回収品として考えているのが、使用済み食用油の回収です。案としては各集落の収集場所に20L缶

を必要分置いて、定期的に回収するという方法ですが、まだ決定ではありません。その他にも紙パック、布類、小型家電など皆さんの要望があれば、回収回数、回収場所など含めて検討していきたいと思えます。

【資源回収対象品(林商店)】

	回数	収集場所	出し方	分け方
段ボール	年2回	公民館等	ひもで縛る	平らにする
新聞	年2回	公民館等	ひもで縛る	チラン混在OK(ビニール袋ダメ)
雑誌	年2回	公民館等	ひもで縛る	広報誌、パンフレット、コピー用紙等OK
食用油	未定	未定	カスは取り除く	植物油のみ
紙パック	未定	未定	紙パックマーク品	紙ひもでまとめる
布類(綿類)	未定	未定	ボタン、チャックOK	再利用品のみ可、社名入り作業服、靴下ダメ
小型家電	未定	未定	電池、バッテリー、インク外す	リサイクル料の対象品は出せない

【大好評！包丁研ぎ】

また好評の包丁研ぎも石川さん(信末)のご好意により、毎月第2水曜日の朝9時より11時30分まで引き続き開催致しますので、交流センターまでお持ち下さい。1本500円で、新品の切れ味に変わります。(はさみもOK)



最後に今年の大雪で特に高齢者の一人暮らしまたは高齢者の不自由な方からの要望として除雪の依頼が有るそうです。南山田地域としてどのような対応を取っていけばいいのか、各自治会長さんと今後検討を重ねていく必要があると思えます。またご協力よろしくお願致します。

【アルミ缶回収(エルハート)】

	回数	収集場所	出し方
アルミ缶	毎月	各指定場所	中身を水で濯ぐ

※縛る紐は紙紐をお願いします。



安全・防災部会
部会長 八畑豊四郎



中国武漢で新型コロナウイルスが発生してから一年余り、今や全世界に蔓延して一億人以上の死者も発生しています。近隣の地区でも新型コロナウイルスでお亡くなりになった方もいらっしゃいます。

しかも変異ウイルスの発生も伝えられておりいつ収束するかわからない状態になろうとしています。私たちはその見えないウイルスに侵されないようにゆるゆる三密状態を回避しマスクや手洗いの習慣など、自己防衛をしなければなりません。

一方、これにより社会活動が停滞して地域のコミュニケーションの停滞を招いていることも事実であります。4月からワクチン接種が始まる模様です。一刻も早くコロナ禍が去ってくれることを願いつつ十分注意しながらの安全防災活動を継続致します。

桜ヶ池幹線水路の改修工事が十年間の予定で主に農閑期に工事が進められているため水路の水量が少ないため除雪や防火に対して注意喚起がなされています。1月19日の深夜住宅が全焼する火災が発生しました。住民の方は無事で、時折吹く西風の気象条件にもかかわらず延焼に至らなかったことは不幸中の幸いでした。安全防災部会では、自主防災組織と連携して南山田地域内の初期消火設備の消火ホース格納箱の点検と防火水槽の設置場所を各自会の協力のもと実施しました。

これらは住民の皆さんが初期消火に供する重要な設備でありその設備状態を確認すると共にこれらの位置情報を現在作成中の安全防災マップに反映させていただきます。

◆南砺市防災行政無線

行政無線が聞き取りにくい場合は電話番号0763-53-2580で聞くことができます。(注意)庁舎統合に伴い電話番号が以前と変わりました。以前の番号は六月以降使用できなくなります。又、防災行政無線のスピーカーはクマの出没や災害発生などの非常時に防災訓練などに地元の方が自主的に利用することもできます(市への利用報告が必要)。

昨年11月にクマの出没の通報が相次ぎました。人的被害は発生していませんがこれから冬眠明けの時期になり出沒も懸念されますのでご注意ください。

◆地元の防災関連の情報

スマートフォンやパソコンから直近の防災情報が入手できますので登録してご利用ください。

◆「なんと！緊急メールサービス」

南砺市HPなどから登録できます。スマホアプリは

◆「南砺市防災アプリ」

防災情報、マップ、被害報告伝言板などの機能があります。

◆「YAHOO防災速報」アプリ

災害情報、履歴、雨雪レーダ気象情報このほかにも様々なアプリが提供されています。スマホのアプリ検索やパソコン検索サイトで「防災」のキーワードで検索してアプリを入手できます。いち早く災害情報などを得るためにもご利用ください。



「交通安全を私達で」

南砺市交通安全協会城端地域支部
南山田地区支部長 山下 博



皆様方には、平素から交通安全活動に深い御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

特に今年度はコロナ禍においても、あたたかく交通安全活動、車輛割賛助金に協賛いただきありがとうございます。

当南山田地区支部では26名の支部役員の方にご協力いただき活動をしています。

春と秋の全国交通安全運動期間中、管内主要交差点(4箇所)にて役員による街頭指導、交通安全のほり旗の掲出、城端駅前での交通安全安全キャンペーンを行い、交通安全への意識向上になればと活動しています。



また、各区長、地区役員方のご協力により納入いただいた車両割賛助金を南砺市交通安全協会本部へ納入、その賛助金の一部約2割を支部活動支援費として各地区へ還元しています。



昨年を振り返ってみますと不幸なことに南砺市において6件の死亡事故が発生しました。

交通安全は私達一人ひとりの身近で日常的な事であり、交通安全の主体は皆様方一人おひとりです。

交通安全への意識向上を図れるよう活動していきますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に令和3年度南砺市交通安全協会年間スローガン最優秀作品に選ばれた4作品をご紹介します。

◎「自主返納 今日まで運転 ありがとう」 (小学生の部)

◎「あおるより ゆずって笑顔 南砺道」 (中学生の部)

◎「手を上げる かわいい笑顔を 待つゆとり」 (一般の部)

◎「まだ乗れる 若いつもりが 事故のもと」 (高齢者の部)

ちよっとの時間 離れるだけでも まず施錠

南山田地区防犯組合 八畑 豊四郎



署奥田交番で発生した警察官襲撃事件は世間や警察関係者を震撼させた重大事件でした。それ以来、警察署や派出所などへの出入りには注意が払われています。

市民に開放された警察署といった今までの雰囲気からは少し後退しますが、これを補うためにも防犯組合・防犯連絡所の役割が重要になってきます。

防犯組合は、以前から警察署と防犯協会が地域の防犯活動をより密接にするために設置した、防犯連絡所を担う目的で、各自治会から選任された防犯連絡員の方々を構成員(防犯協合理事)として次のような自主的な防犯活動を担っています。

- * 市・警察署との関係機関との連絡
- * パトロールなどの防犯活動地域安全キャンペーンなどの推進、協力
- * 防犯教室や地域安全教室等の開催
- * 犯罪多発地域及び危険箇所点検

コロナ禍で疲弊している社会で感染する不安を巧みに利用した特殊詐欺などが増えています。



これらの犯罪被害に合う事態には絶対に避けなければなりません。少しでも変だと気が付いたら一人で悩まず助けを求めてください。又、身内や近所の方が困っていたら助けてあげてください。



- 連絡・相談は最寄りの防犯連絡所
- ☆南砺警察 52-10110
- ☆南砺市生活環境課 23-12035
- ☆緊急の場合は直接 110番へ

クマの目撃情報もいづれかの電話番号へ通報をお願いします。

気を付けて あの手この手のサギ手法

南山田地区防犯組合 南砺市防犯協会 南砺警察署

健康・福祉部会
みなくる会(通所型サービスマ)

副部会長 松 敬子



開催日時:
毎週木曜日
AM9:30~PM3:00
場所:金戸公民館
連絡先:交流センター
☎62-3393

【高齢者に寄り添って】

フレイルという言葉を知りましょうか。フレイルとは加齢により心身が老い衰えた状態の事を言います。コロナ禍の今、食の偏りや運動不足、人との関わりが少なくなる事によって、高齢者がフレイルに陥るリスクが高まっています。フレイルがさらに進むと、要介護状態になると考えられています。

みなくる会は、ストレッチや体操、脳トレ、季節の作品作りなど様々な取り組みを通して、高齢者の皆さんのフレイルの予防と、心地よい居場所作りに努めています。自粛で様々なイベントが中止になる中、何か楽しい事と計画した、玉ねぎの皮の草木染は、どんなふうにも染まっているかなと布を広げる瞬間がワクワク、ドキドキ童心に帰って目を輝かせておられました。また、初めての俳句作りでは、五・七・五と指を折りながら悪戦苦闘。苦労して作られた俳句は、なかなかの出来栄でした。松ぼっくりのクリスマスツリーは、

個性豊かな作品に仕上がりました。



松ぼっくりのクリスマスツリー



玉ねぎの草木染のマイバック

高齢になり、社会との繋がりが少なくなると、気が衰えてしまいます。みなくる会に参加して社会の一員としての居場所があること、そこで新たな人間関係を作れることは、生きがいにつながります。とりとめのない会話で盛り上がり、冗談を言って笑い合う。みなくる会の皆さんの笑顔が、いつまでも続くように、寄り添っていきたく思います。

民生委員事務局

副部会長 山下正三



南山田地区社会福祉協議会がなくなり、従来の活動は健康福祉部会が引き継ぐことになりました。

一部の行事は廃止しましたが、民生委員や地域福祉推進員、ヘルスポランティア、食生活改善推進員、自治会等の皆様のご協力により、新型コロナウイルスの中、感染防止に留意しながら活動を行いました。

・高齢者安否確認訪問

民生委員が一人暮らしの高齢者世帯を年間6回訪問し、生活状況や相談事などを確認しました。特別定額給付金申請支援申請手続きに困っている高齢者世帯を調査し支援しました。

・ふれあいサロン

閉じこもり防止と仲間づくりを目的に、主に地域福祉推進員に楽しい企画と運営をお願いし、各地区の公民館や集会所で、健康教室やレクリエーション、講話などを定期的に開催しています。コロナ禍により活動を一時休止した地区がありましたが、コロナが収束して、また再開できることを願います。

・南砺市寿入浴券配布

前回までは民生委員が配達していましたがコロナ感染防止のため該当者に直接郵送されました。敬老会はコロナ禍により中止

・配食サービス、高齢者交流会は助成金削減により廃止

・南砺市社協の歳末助け合い友愛訪問事業は廃止

【南山田地区の民生委員・児童委員】

- 大江敏雄 信末・是安
- 山根秀元 城端栄町・城端末広町
- 勇崎清孝 野田
- 渡邊留美 金戸・国広・京塚
- 山本あき代 千福・野口・西原
- 池田又次郎 塔尾・上見・上原・南原
- 荒木修治 大窪・細木

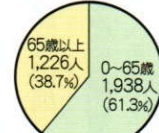
任期:令和1年12月1日~4年11月30日

事業内容に対するご意見やご要望があればお聞かせください。

【南山田地区年齢別人口】令和2年12月末(南砺市HP人口統計)

年齢別	計	男	女
100~	3	0	3
90~99	127	32	95
80~89	282	110	172
70~79	561	286	275
65~69	253	112	141
60~64	202	105	97
50~59	323	159	164
40~49	394	207	187
30~39	299	150	149
20~29	256	132	124
10~19	267	134	133
0~9	197	92	105
合計	3,164	1,519	1,645

【南山田地区全人口3,164人】



【65歳以上一人暮らし世帯】

男	女	計
33	67	100

【70歳以上のみ同居世帯】

区分	世帯	人数
2人世帯	92	184
3人世帯	9	27
計	101	211



末広町サロン ひまわりの会



コロナ禍で休止中

サロン名	実施地区
ひまわりの会	末広町
あたごサロン	野田
ハッスル三共	野口・千福・西原
かたらいサロン	上原
あじさいクラブ	細木
ホテルの会	大窪
信末サロン	信末
是安サロン	是安
栄町サロン	栄町
金戸サロン	金戸
塔尾老人会	塔尾
まんさくの会	塔尾

南原

南原地区の状況

南原集落は南山田地区の最南端の位置に有り、平成20年に東海北陸自動車道が全線開通して南原地内を縦断しています。終戦後の昭和21年4月、他地区の開拓団員より1年遅れでこの開拓地（南原台）に当時27軒が開拓団員として入植し、原野を開墾して、極土の酸性土壌改良など、試行錯誤を繰り返しながら生活をしていました。

現在は2代目、3代目が受け継ぎ当時から居る人が7軒になり、新たに5軒（飲食店含む）の転入により12軒の37人が生活しています。



南原の由来と歴史

南原を含む立野原一帯（福光・城端）は旧陸軍の軍事演習場として昭和20年の終戦に至るまで使用されてきました。

その後国策として開拓団が組織され、食糧増産に励んだとされています。一方、昭和42年に刀利ダムが完成し、その後昭和45年より立野原一帯の農地開発事業が14年の年月を経て完成され、同時に水の供給も刀利ダムからパイプラインで引かれるようになり、南原以外の耕作者も多く、良質な野菜作りから、果樹及び稲作まで豊富な作付けが出来る現在の農業基盤が確立されました。

また、桜ヶ池の中ノ島に有る桜ヶ池神社は、昭和34年に土地改良区によって建立されたものです。

その時に南原部落が鳥居を寄付したことが



観光地としての南原

ら、今も春は桜ヶ池土地改良区の水神祭が、秋は南原集落の祭礼として共有されております。

農業用用水を目的として昭和28年に、13年の年月を掛けて完成した桜ヶ池は、今では県定公園となり桜の名所としても賑わっており、大勢の家族連れが訪れています。

昭和57年8月にその桜ヶ池を舞台にして行われた矢つぎ火祭りは、「大胆且つ厳粛に」の発想を元に行われました。

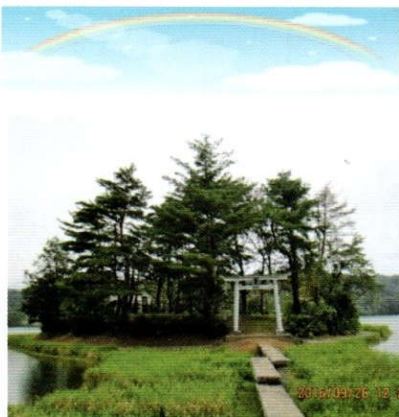
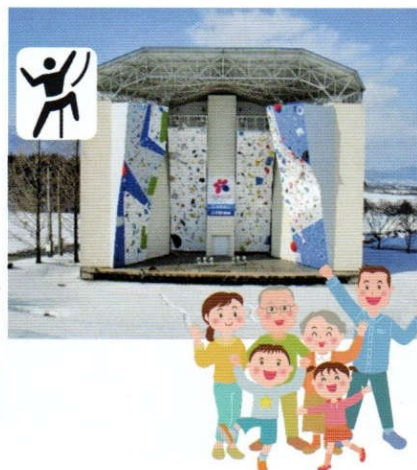
その内容は、池の中に浮かべた巨大筏に約100本の孟宗竹のタスマツを建て、そこへ神主が火のついた矢を放って点火する瞬間がこの祭りのクライマックスと言われておりました。

回を重ねる毎に、祭りの



規模も大きくなり、近隣の上原・上見・塔尾集落からも多数の協力を頂くことにより、盛大に12年間続けることが出来ました。

今では周辺にハイウェイオアシス、クアガーデン、ヨッテカーレ、サクラクリエ、PAワークス、クライミングセンターなど、新しい施設が立ち並び活気づいています。



(次号 京塚地区)

センター趣味の教室紹介

生け花教室

昨年から今もなお続く感染症に苦しみられ、当たり前前に過ごしていた日常生活が出来なくなりました。

南山田生け花教室を担当させて頂いてから、随分と長くなりしましたが、皆さんと笑顔で楽しくお稽古できることとても嬉しく、しあわせに感じております。

生け花の魅力は、花に向き合うことで自分自身を見つめ高められながら、花を通じて多くの人たちと思いを共有できることです。花を活けていくと、明るい気持ちになり、やさしく人に接することができるとは思いません。

今年度は、ジュニア・ヤングママ・シニア(男女を問わず)を対象とした新クラスを設けたく思います。



フラワーアレンジメント・リース等簡単なければなど、遊び心いっぱい教室を考えています。



月1回(5回シリーズ)土曜日午後から1時間程度を考えております。ぜひ！体験してみませんか？皆さんで楽しみましょう！おまちしております。



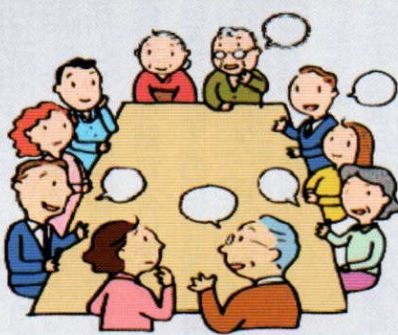
編集後記

今年も役員各位のご協力のもと、令和2年度年度末南山田会報をお届けいたします。

各団体・各部会の事業内容や活動など、1年間頑張られた成果をご報告致します。

それぞれの活動内容は、紙面には収まりきれませんが、少しでもお伝え出来れば嬉しく思います。

だより会議(コロナの為、会合は中止いたしました)



センターでは毎月、白紙の「会報みなみやまだ」を発行し、各行事の予定や報告をのせております。この会報は、全戸配布しており、地区民の皆様もご覧になっておられる事と存じます。

地域づくり協議会は、南山田地区の活性化を目指し、役員各位のご協力のもとこれからも頑張ります。

毎月の会報みなみやまだ



皆様のお声を大切にし、ご意見を参考にしながら、次年度もますます活力ある事業になるよう、日々邁進する所存です。

地域の皆様方の温かいご支援、ご参加を心よりお願い申し上げます。(S・S)



南山田地域づくり協議会ホームページ <https://minamiyamada-kc.7104.info/> スマートフォン用QRコード

